

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子供の未来」～ 大人が子供の手本となり、みんなで人間力を高めます ～

猛威を振っているインフルエンザの罹患者数も徐々に減少し、子供たちは鬼ごっこや長縄跳びの練習など、元気いっぱいの姿を見せてくれています。しかしながら、乾燥する日が続き日ごとの寒暖差も大きく体調を崩しやすい時期が続きます。今後とも、換気に留意するとともにうがい手洗いを励行して参りますが、放課後や休日の過ごし方についてもご配慮いただければ幸いです。

令和6年度も残りわずかとなり、1年間を締めくくる大事な時期を迎えています。卒業に向けての準備も始まり、20日(木)には、これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」も予定されています。様々な行事を通して自分の成長を感じ、一人一人が希望をもって卒業・進級できるようにするとともに、生活、学習のまとめをしっかりと行っていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には引き続きのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◇ ご来校ありがとうございました ◇ — 授業参観 懇談会 —

2月7日(水)に、今年度最後の授業参観、懇談会を行いました。保護者の皆様には、お忙しいところ、また冷たい風の吹く中ご来校くださりましてありがとうございました。



今年度最後の授業参観ということで、今年1年間のできようになったことを発表する活動も見られました。子供たちの1年間の成長の姿はご覧いただけましたでしょうか。学校で学ぶ意義は、友達同士の学び合いにあります。発表会でもグループでの活動や話し合いでも、努力する姿を見合ったり、考えや思いを聴き合ったりすることを通して自分の学びを深めていきます。今後も子供の発達に応じてこのような学習活動の場を大切にしていきたいです。

◇ 自動音声を17時30分に変更 ◇ — 勤務時間外の電話対応 —

昨年9月に市長、市教育長の連名により「学校における働き方改革」への理解と協力を求める通知が発出されたことはご存じのことと思います。そこには学校行事、中学校の部活動、ボランティア活動への協力、学校への問い合わせの4項目に関する記載があり、行事の見直しや登下校の見守り、電話の自動音声切り替えへの対応等について、保護者や地域の皆様への理解と協力が呼びかけられています。

本校では、現在、電話の自動音声切替時刻は18時となっておりますが、**3月から17時30分**といたします。これにより学習評価・教材研究・児童理解の一層の充実を図ります。保護者の皆様におかれましては、お仕事等、各ご家庭のご事情もあるかと思いますが、教員が子供と向き合う時間を確保するための手立ての1つとしてご理解とご協力をお願いいたします。

◇ みなみんコンサート ◇ ― 表現することを楽しむ ―



1月29日、2月12日のロング
昼休み2回に渡り「みなみんコンサ
ート」を開催しました。今回は、2
日間で16組、47人の子供たちが
参加してくれました。ダンスや合奏、
歌、ピアノ演奏など、得意な分野、
興味関心のある分野で発表しまし
た。

学校の短い休み時間を利用して練習を続けてきた子供たちもいます。きっと、家でも頑張っていたのでしょう。また、意見の違いからなかなか練習の進まない様子も見られました。ちょっぴりハラハラしましたが、それでも当日は笑顔で頑張っていました。「楽しんでやるのが1番です」と子供たちには話してきました。子供たちにとってそのような時間をつくれたのであれば幸いです。残念ながら、十分に練習ができなかったり、体調を崩して当日参加できなかったりした子もいましたが、「やりたい」と進んで意思表示をしてくれたことはとてもうれしいことです。子供たちには、こういった思いを大切にしてほしいと思っています。保護者の皆様には、お子さんへの励ましやCDの準備など、ご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、「表現することを楽しむ」と表題に記しましたが、表現するためには準備（努力）が必要です。すぐにダンスやピアノ演奏を披露できることはないでしょう。授業中の意見発表も、課題について考え、考えを整理する準備が必要です。また、「楽しむ」ためには環境を整えることも大切です。見て、聴いて、応援して、一緒に楽しむ人たちがいるから一層楽しめるのです。授業でも、1つの意見に対する周囲の反応があるからこそ学習が深まり楽しさを味わえるのです。それができるのが学校なのです。「表現したいけれどできない」という子もいます。表現させるのではなく、表現したくなるのを待つことも大切ですし、「話す」「書く」「描く」「動く」など、個に応じて様々な表現方法を認め励ますことも必要です。それが「寄り添う」ということです。

学校には、子供たちの表現する機会や場をより多く設定し、子供たちが自由に表現できる時間と空間を整えることが求められています。

